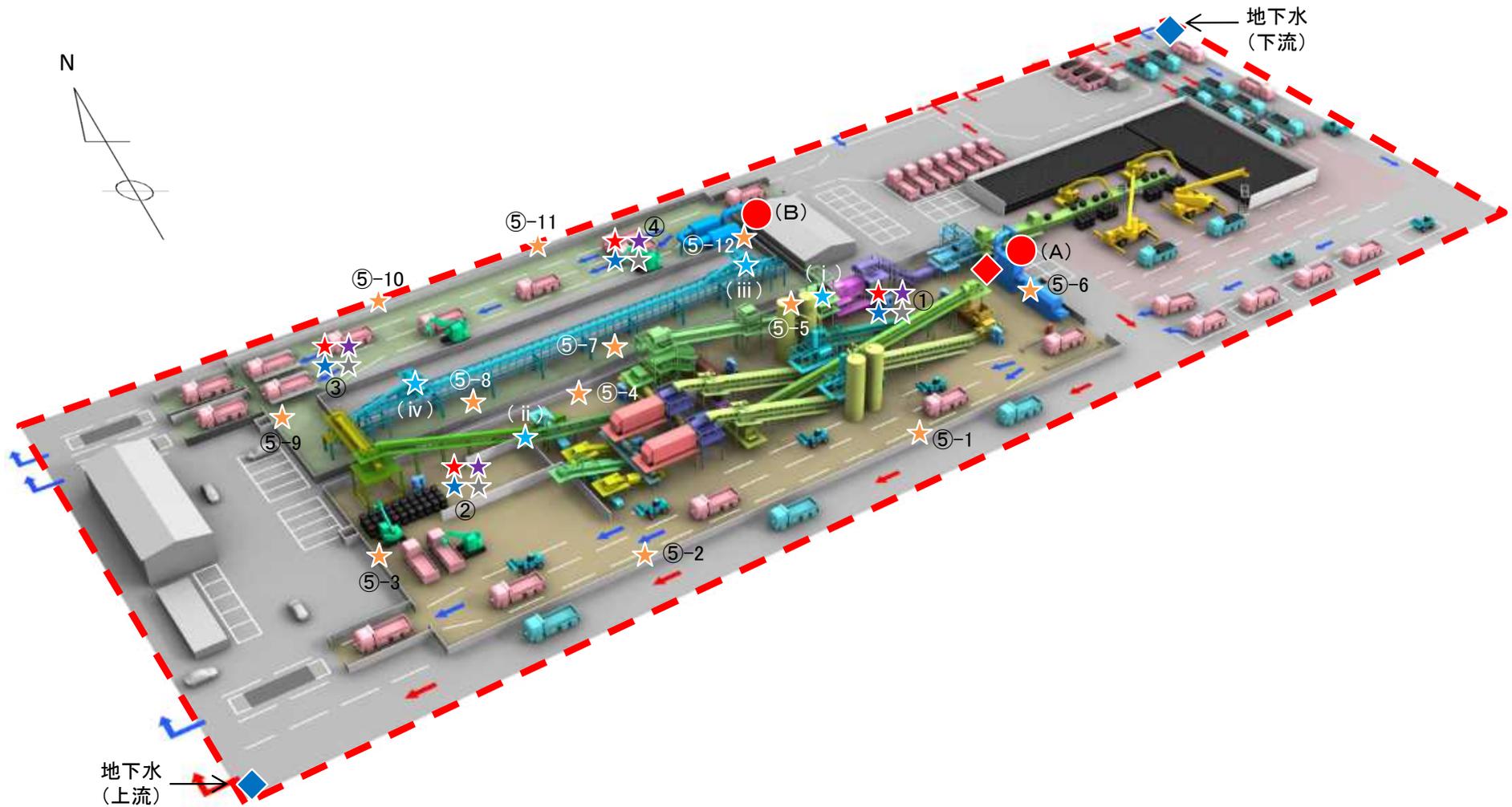


受入・分別施設(第2期双葉②工区)における 周辺環境及び作業環境測定地点(月次測定)



凡例

- | | | |
|-----------------|-----------------|----------------|
| ◆ : 地下水中の放射能濃度等 | ● : 排気中の放射能濃度 | ◆ : 排水中の放射能濃度 |
| ★ : 粉じん濃度 | ★ : 空間線量率(作業環境) | ★ : 空気中の放射能濃度 |
| ★ : 表面汚染密度(床) | ★ : 表面汚染密度(壁) | ★ : 表面汚染密度(設備) |
| --- : 敷地境界線 | | |

受入・分別施設(第2期双葉②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年3月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2019/1/17	(稼働前)	47	10	ND
	2019/3/6	(稼働後)	53	13	ND
下流	2019/1/17	(稼働前)	26	12	ND
	2019/3/6	(稼働後)	23	7.0	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/3/6 (稼働後)
		放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A-1	円筒ろ紙	ND
	ドレン部※	-
集じん機A-2	円筒ろ紙	ND
	ドレン部※	-
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部※	-

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.3 Bq/m³、ドレン部：- Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

※2019年4月から測定。

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★粉じん濃度

測定地点	2019/3/6 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m ³)
①	1.4
②	0.9
③	0.3
④	0.2

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/3/6 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
①	0.11
②	0.20
③	0.16
④	0.27

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/3/6 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm ³)
①	ND
②	ND
③	ND
④	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：5.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点	2019/3/6 (稼働後)	
	表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
	⑤-7	ND
	⑤-8	ND
	⑤-9	ND
	⑤-10	ND
	⑤-11	ND
	⑤-12	ND
設備	(i) 破袋機	ND
	(ii) 20mmオーバーサイズ集合ベルコン	ND
	(iii) トリッパ-コンベア	ND
	(iv) トリッパ-コンベア	ND

表面汚染密度検出下限値：0.70 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(第2期双葉②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年2月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日				
上流	2019/1/17	(稼働前)	47	10	ND
	2019/2/25	(稼働後)	50	8.0	ND
下流	2019/1/17	(稼働前)	26	12	ND
	2019/2/25	(稼働後)	24	4.0	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/2/25
		(稼働後) 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A-1	円筒ろ紙	ND
	ドレン部※	-
集じん機A-2	円筒ろ紙	ND
	ドレン部※	-
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部※	-

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.2 Bq/m³、ドレン部：- Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≤1

※2019年4月から測定。

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★粉じん濃度

測定地点	2019/2/25
	(稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
①	0.5
②	0.4
③	0.5
④	0.2

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/2/25
	(稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
①	0.10
②	0.21
③	0.21
④	0.20

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/2/25
	(稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm ³)
①	ND
②	ND
③	ND
④	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：5.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≤1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点	2019/2/25	
	(稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
	⑤-7	ND
	⑤-8	ND
	⑤-9	ND
	⑤-10	ND
	⑤-11	ND
	⑤-12	ND
設備	(i) 破袋機	ND
	(ii) 20mmオーバーサイズ集合ベルコン	ND
	(iii) ドリッパ-コンベア	ND
	(iv) ドリッパ-コンベア	ND

表面汚染密度検出下限値：0.70 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²